

多文化関係学会 2018年度 第3回理事会

日時：2018年9月23日

場所：椙山女学園大学 星ヶ丘キャンパス 国際コミュニケーション学部棟
421 教室

出席者（敬称省略、順不同）：松永、中川、湊、田中、金本、原、笠原、
松井、武田、宇治谷、山田、出口、内藤、趙

オブザーバー（敬称省略）：小松、松田

欠席者（敬称省略）：奥西

I. 報告事項

1. 事務局からの報告

9月19日現在の会員数（大会希望者を除く）は、正会員が317名、
学生会員が68名、シニア会員が4名

2. 各種委員会からの報告

●各地区研究会委員会からの報告

・中国・四国地区および九州地区広域研究会

7月28日（土）に、九州大学西新プラザにて研究会が開催され、
大学院生2名の発表があった。15名の参加者があり、活発な議論
がなされた。

・関東地区研究会

5月26日（土）に成城大学にて、菊川れん氏の講演が開催された。
NHKの取材が入り、7月7日（土）に当日の様子の一部が放送さ
れた。

・中部・関西地区研究会

- ・3月17日（土）に、ヤコブ・E・マルシャレンコ氏による発表
「法廷通訳人からみた通訳言語としての英語をめぐる課題に関
する一考察」が、名古屋外国語大学にて開催された。
- ・5月12（土）にニューメキシコ大学名誉教授のジョン・コンド
ン先生によるワークショップが、名古屋外語大学にて開催さ
れた。

- ・北海道・東北地区研究会

8月4日(土)に、愛媛大学名誉教授の細川隆雄先生による「日本人はどのような理由で鯨塚をたてお祀りしたのか」が開催され、35名の参加があった。

- ・中国・四国地区研究会

今後、外国人児童生徒等とかかわる人を対象とした異文化間カウンセリングに関する講演とワークショップを年度末に開催することを企画中。

3. 第17回大会準備委員会からの報告(大会委員長)

大会委員長より「この度はありがとうございました。本日は3時頃の終了となりますが、今日一日宜しくお願ひします」との挨拶があった。

4. 学会誌投稿規定に関する次期理事会への申し送り事項

投稿規定における日本語と英語の齟齬の修正に関して執行部に依頼があったが、過去の議事録等の資料に記載はなく、執行部では対応が難しい。本件は、時期の理事会へ申し送り事項として伝えることにする。

5. 2019年度大会について

大会委員長は東海大学の山本志都先生。開催校は未定だが、東京未来大学の予定。次期は11月を予定。

6. その他

- ・武田先生

2015年の英語ラウンドテーブルの内容をもとに教科書 *Steps to Academic Presentations* を執筆した。学会名も入れ、執筆者は武田礼子先生、Mira Simic-Yamashita 先生、八島智子先生。1月11日発行予定。授業等で採用する時は、ご一報願ひたい、との依頼があった。

- ・学会誌第15号の進捗状況(学会誌編集委員長)

- ・投稿本数は14本で、査読、再査読を終え、論文4本、ノート1本の採択が決まった。採択率は35%。

- ・ニューズレター委員会より原稿執筆依頼(NL委員会委員長)

「第34号(大会特集号)案」をご確認頂き、原稿を1月6日まで

に提出する。地区研究会は6月開催以降分を執筆する。2月発行なので、開催予定のものも掲載可（学術委員会より）石井米雄奨励賞については、審査委員が原稿を執筆し、学術委員長に提出する。

*大準備委員長より、次回のニュースレターでの年次大会のシンポジウム等企画に対する執筆依頼があった。

- ・学術委員会（学術委員会委員長）
 - ・学術委員の新委員として、藤美帆先生（広島修道大学）の加入が承認された
 - ・特定課題研究の募集は今年度なかった。2019年度の募集に際して、制度の再検討が必要（審議事項）。
 - ・学会創立20周年事業のシンポジウムが本日開催される
- ・財務委員会
前回の臨時総会で承認された内容を本日報告する

- ・選挙管理委員会（選挙管理委員会委員長）
今回理事選挙の対象となる役職は、学会誌編集委員会副委員長、学術委員長、北海道・東北地区研究会委員長、中国・四国地区研究会委員長、九州地区研究会委員長、幹事1名。自選・他薦による応募締め切りは、10月19日
- *今年度をもって退任する理事及び監事：松永、中川、原、奥西、山田、笠原、趙、小松
- *留任：田中、松井、出口、武田、宇治谷
理事会推薦により、次回理事選挙にて、信任投票対象となる理事・監事、湊、内藤、松田、金本

- ・学会誌の校閲作業について（学会誌編集委員長）
一部の大学院生や留学生の投稿論文の校閲の作業が煩雑になってきている。技術的な修正については、現在委員会で外注を検討中である。

II. 審議事項

1. 事務委託業者変更にもなう引き継ぎ業務について

学協会サポートセンター廃業につき、3社から見積もりを取った。
→「あゆみコーポレーション」か「アクセライト」の2社をさらに検討することにする

2. 次期理事会の体制について

自薦、他薦について確認がなされた。

3. 特別課題研究の今後のあり方について

研究補助額の少なさ、メリット等について指摘がなされてきており、
2019年度のあり方について抜本的な見直しが必要。

→「2019年度も制度を継続し、補助額を増加する」方向で調整するが、
不可能な場合「2019年度も制度を継続するが、補助の増加が行わず、
他のインセンティブ提供や告知の強化により応募を促す」ことにす
る。11月の募集に間に合うよう、学術委員会で検討をし、制度改正
を進めていく（*メール審議にて決定する）。

*（財務委員会より）2019年度については予算の増額が可能。

4. 年次大会の抄録のコピー販売の問い合わせについて（事務局）

→暫定的な処置として、以下のように決まった。今年度の抄録希望者
は冊子本体を購入してもらう。郵送料込み

で3000円で販売する

→昨年度の抄録については、発表1ページにつき100円で販売する

→それ以前の発表はPDFで差し上げる

<次回> 2018年度第4回理事会

2019年3月開催予定

場所未定